

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

#### ● ガストリン

(依頼コード No.13935)

受託開始日 2023年5月1日(月) ご依頼分より

ガストリンは、胃幽門部、十二指腸粘膜に存在するG細胞によって分泌される消化管ホルモンであり、胃酸分泌促進、ペプシノゲン分泌促進、胃壁細胞増殖、インスリン分泌促進等の多くの生理作用を有しています。

ガストリンは、ガストリノーマ、Zollinger-Ellison症候群で異常高値を示すことから、これらの疾患の診断に重要な検査とされています。

この度、体外診断用医薬品として薬事承認され、保険適用可能な試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行の研究用試薬を用いたガストリン(依頼コードNo.13764)は、2023年4月28日(金)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1  
☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



Google play



Available on the  
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



## 受託要領

依頼コードNo.	13935
検査項目名	ガストリン
統一コード	4G040-0000-023-002
検体必要量	血清 0.5mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	凍結
所要日数	2～4
検査方法	RIA・PEG法
基準値	11.9～46.9
単位	pmol/L
報告範囲	11.9未満～4000.0 上限を超えた場合は別紙報告
報告桁数	小数第1位
検査実施料/判断料	101点/144点(生化学的検査(Ⅱ))

## 参考資料

(試薬添付文書掲載)

### ■主な交差反応性

対象物質	交差反応性(%)
ガストリン-17	100
ガストリン-17, 硫酸化体	87.8
ビッグガストリン(ガストリン-34)	83.1
CCK-8	40.4
ガストリン 1-14	<0.01